

全木連時報

5月25日(火曜日)

(第626号)(毎月25日発行)

平成22年(2010年)

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

編集長 尾 蘭 春 雄

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215

URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

全木連・全木協連・木退共通常総会

全木連並木会長、全木協連吉条会長を再選



おめでとーいございます

平成二十二年春叙勲・褒章

- 旭日双光章 笠井 文雄(大坂) 黄綬褒章 田中 隆行(東京)
- 旭日双光章 神谷 雄介(静岡) 黄綬褒章 千里 猷一(徳島)
- 旭日双光章 鳥越 康生(岡山) 以上木材産業振興功労者関係
- 旭日双光章 矢田 豊(福井) (敬称略)
- 黄綬褒章 御供誠太郎(群馬)

第六十八回全木連通常総会、第五十回全木協連通常総会、第三十八回木退共通常総会が五月十二日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷を会場に、全国から会員多数が出席して開催された。役員改選では、並木瑛夫全木連会長、同木退共会長、吉条良明全木協連会長とともに再選した。総会には林野庁の島田泰助長官をはじめ関係幹部、越海興一国土交通省木造住宅振興室長、また、林業関係団体幹部が来賓として出席し、華やかさを盛り上げた。総会の議事は順調に進み、所定の議案を滞りなく審議のうえ承認・決定して閉会した。

全木連通常総会

全木連の総会は、午後一時十五分から開会。会議に先立ち、今春の叙勲・褒章者を尾蘭副会長が報告(別掲)。全員が拍手で受章を称えた。開会のことは大石副会長が述べたあと、並木会長が挨拶にたち、「経営環境の厳しさから、木材業界の先行きが心配される。」としたうえで「木材業界の最大の課題は木材需要の拡大、業況改善の取組みである。」と指摘、「諸般の対策に対応し推進に取り組んでいく。」と述べた。つづいて、来賓の島田林野

議長は、並木会長が議長となり、進行。

第一号議案の平成二十一年度事業報告承認の件、第二号議案の平成二十一年度収支決算承認の件については、事務局説明のうえ、名倉敬世監事が監事を代表して監査報告し、原案のとおり承認された。次いで、その他として、事務局

目次

- 一面 全木連総会開き並木会長を再選
- 二面 全木協連開き吉条会長を再選 木退共総会 来賓祝辞
- 三面 全木連会長総会挨拶
- 四面 景況調査

より、全木連の組織・財務改革等については早急に検討し、可能なものから実施に移せるよう進めていきたいと報告。また、三月の理事会・総会以降の報告事項を報告。今年第四十五回全国木材産業振興大会の開催予定について、開催地の松原副会長（北海道支部長）が紹介と多数の参加を呼びかけた。任期満了による役員改選では、並木会長が再選されたほか、他の

来賓祝辞のポイント

国産材50%も可能

林野庁長官

森林・林業に対する状況が大きく変わっている。環境重視となつて、大企業も動いている。(木材利



役員についても、理事、監事各一名の異動のほかは全員が留任した。再選された並木会長から就任の決意を込めた挨拶があり、最後に、山根副会長が閉会のことを述べて閉会した。総会で異動のあった役員は、次のとおり(敬称略)。理事Ⅱ長浦慎一(東京・阿部信義と交代)。監事Ⅱ齋藤春秀(東京・岩瀬茂雄と交代)。

用促進の)法律は全党賛成。法律自体が世の中の状況を反映している。木材を使えるところは使っていく。五十%は出来るかもしれない。

品質の安定した木材の供給が求められる

国土交通省木造住宅振興室長

つい最近も自宅近くのガードレールが木製に変わった。都会でも普通のこととなった。非木造の低層公共建築物は木造化が進む。しかし、ビルとなると、基準法の適用が厳格。品質の安定した木材の供給が求められる。

地方公共団体が取り組みやすくなるように

林野庁林政部長
事業仕分けの中では、森林・林

全木協連通常総会

全木協連の通常総会は、午後三時十五分に開会した。



会議は、開会の辞を越井副会長が述べて始まり、まず、吉条会長が挨拶があった。

次いで、来賓の林野庁飯高林政部長から祝辞が述べられた。

議事は、吉条会長が議長となり進め、①平成二十一年度事業報告承認の件②平成二十一年度決算及び剰余金処分案承認の件を事務局から説明のうえ、阿部信義監事が代表して監査報告を行い、承認した。

次いで、③平成二十二年事業計画決定の件を事務局から説明のうえ、原案のとおり決定した。

④平成二十二年収支予算決定

木退共通常総会

木退共の総会は、並木会長が議長となり全木連総会と併行して行われた。

議案の①平成二十一年度事業報告承認の件②平成二十一年度収支決算承認の件は、事務局説明の後、山口武夫監事が代表して監査報告を行い、承認した。

③平成二十二年度事業計画決定の件④平成二十二年度収支予算決定の件⑤平成二十二年度入会金及び会費決定の件については、事務局から説明のうえ、原案のとおり決定した。

役員の改選では、並木会長が再選され、そのほかの役員も全員留任した。

の件⑤平成二十二年度賦課金決定の件⑥平成二十二年度借入金最高限度額決定の件⑦平成二十二年度役員報酬決定の件については、一括で事務局から説明した後、原案のとおり決定した。

任期満了による役員改選では、吉条会長を再選した。このほかの役員についても、理事、監事各一名の異動のほかは全員が留任した。再選された吉条会長から就任の挨拶があり、最後に、高橋副会長が閉会の辞を述べて終了した。

総会で異動のあった役員は、次のとおり(敬称略)。

理事Ⅱ網中勝(東京・木場製材・村井龍一と交代)。監事Ⅱ長浦慎一(東京・新東京・阿部信義と交代)。

木材産業界独自の退職金共済制度

ご加入のおすすめ

(社)木材産業退職金共済会

総会での並木会長挨拶



会議の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

第六十八回全木連通常総会・理事会並びに第三十八回木退共総会・理事会を開催いたしましたところ、皆様方には全国各地からご参集いただき誠に有難うございます。また、日頃からご支援、ご指導いただいております島田林野庁長官、国土交通省の越海木造住宅振興室長はじめご来賓の皆様には、ご多用の中ご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

大幅株価下落など、依然として厳しい情勢にあります。昨年の新築住宅着工戸数につきましては七十八万八千戸と極めて低水準となり、木材業界はこれらの影響を受けて、かつてない厳しい経営環境が続きました。このところ戸建て住宅を中心に回復の兆しが見受けられるものの、引き続き、木材業界の先行きが大変に心配されているところであり、

今、木材業界の最大の課題は、木材需要の拡大、業況改善の取組みであります。昨年、全木連といましては、平成二十一年度四月の「経済危機対策」や平成二十一年十二月の「明日の安心と成長のための緊急経済対策」、そして平成二十二年度予算、税制改正などにおいて、緊急的な木材利用促進、セーフティネットなどの対策が反映できるよう活動を実施しました。また、平成二十一年十月には全国木材産業振興大会では、スローガンを「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」として開催し、参加者総意の下で景気対策、エコポイント制度の導入などを決議し、その後、会員挙げて、それらの実現に取り組んだところであります。そして、ご存知のとおり、二次にわたる補正予算、平成二十二年度予算等において、木造の住

宅建築促進、公共施設の木材利用促進、バイオマス利用対策、セーフティネット対策、そして住宅版エコポイント制度などが実現したところであり、林野庁長官をはじめ関係政府機関・政党の皆様方の多大なご尽力に感謝を申し上げます。これらの諸対策の実施と併せて、我々業界自身による「木材業界の明日の展望を切り開く取組み」、すなわち、住宅、公共施設、商工業施設等あらゆる分野における木材利用促進に限りない努力を尽くしていくこと、などを通じて、景気回復、木材産業の業況回復が早期に実現できることを強く念願するものであります。

「木材利用」木材を使う」ことにつきまして、政府・地方公共団体、業界関係者等のご努力により、人々への理解促進は広まってきていますが、これを、具体的な実需拡大につなげていくには、利用促進の体制づくり、業界自らの取組みが必要です。のち程、島田林野長官、越海木造住宅振興室長からお話があるかと思えますが、地域材の利用促進につきまして、「農林水産省木材利用推進計画」の作成、「森林・林業再生プラン」の作成とその具体的施策の検討、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法制度の国会上程」、「地域材利用の住宅づくり」など、制度的枠組みの構築・充実強化が鋭意進められています。木材業界

としましては、大変にありがたいこととあります。そうした枠組み・仕組みの効果的な推進のために、木材業界の役割は大変に重要であると考え次第であります。多くの関係者と連携し、地域的特色も最大限に活かしながら、制度・対策の有効活用、推進に取組んでいくとともに、消費者・需要者等顧客の期待に応えた、価格・品質・性能・環境機能をもった製品供給・開発、中でもJAS製品の乾燥材、合法木材の安定的供給体制をきちんと整えていくことが緊要の課題であります。全木連としまして、このような諸対策の推進に取組んでいく考えであります。

木退共につきましては、加入者の減少が続いています。このままでは制度の維持に影響がかねません。なにとぞ皆様のご協力をいただき、是非とも加入者獲得をお願いする次第であります。

本日の会議は、平成二十一年度の事業報告及びその収支決算と役員改選が主たる議題であります。限られた時間ではありますが、十分なるご審議をお願いいたします。最後に、春の叙勲の栄に浴された木材業界の方々にかかれましては、日頃のご精進とご努力の賜物と心からお喜び申し上げますとともに、今後一層のご活躍を祈念申し上げます。

さらに、会員各位のご繁栄とお集まりの皆様のご健勝をご祈念申し上げます。冒頭のご挨拶と致します。有難うございました。

企業経営に安心を提供します
全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年
中型グループ

従業員のために 中型グループ	総合賠償補償制度	第三者への事故対策に
	任意労災保障制度	労働災害への対策に
経営者のために 総合保障プラン	木退共	従業員の退職金の準備に
	積立終身	経営者の退職金などの準備に

ケガ・病気になるなどの備えに

全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

景況調査＝全木協

22年4月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数109 回答数68 回収率62%

当月の状況

販売量	増加37% (25)	変わらず42% (29)	減少21% (14)
仕入量	増加32% (22)	変わらず46% (31)	減少22% (15)
販売価格	上昇7% (5)	変わらず86% (58)	下降7% (5)
仕入価格	上昇29% (20)	変わらず67% (45)	下降4% (3)

来月の見通し

販売量	増加37% (25)	変わらず54% (37)	減少9% (6)
仕入量	増加35% (24)	変わらず50% (34)	減少15% (10)
販売価格	上昇19% (13)	変わらず80% (54)	下降1% (1)
仕入価格	上昇32% (22)	変わらず68% (46)	下降0% (0)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	42% (24)	54% (31)	4% (2)
南洋材	25% (13)	71% (38)	4% (2)
北洋材	34% (19)	61% (34)	5% (3)
国産材	21% (13)	77% (47)	2% (1)
建材	41% (23)	57% (32)	2% (1)

乾燥材取引の頻度	増加 19% (12)	変わらず 81% (52)	減少 0% (0)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数119 回答数73 回収率61%

当月の状況

販売量	増加31% (22)	変わらず48% (35)	減少21% (15)
仕入量	増加24% (17)	変わらず44% (31)	減少32% (23)
販売価格	上昇10% (7)	変わらず87% (62)	下降3% (2)
仕入価格	上昇49% (35)	変わらず48% (35)	下降3% (2)

来月の見通し

販売量	増加31% (22)	変わらず54% (39)	減少15% (11)
仕入量	増加28% (20)	変わらず53% (38)	減少19% (14)
販売価格	上昇19% (14)	変わらず80% (57)	下降1% (1)
仕入価格	上昇36% (26)	変わらず60% (43)	下降4% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	60% (18)	37% (11)	3% (1)
南洋材	57% (13)	39% (9)	4% (1)
北洋材	55% (16)	42% (12)	3% (1)
国産材	39% (23)	46% (27)	15% (9)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 93% (14)	1ヵ月 7% (1)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	-------------------	---------------	-----------------

平成22年度 補助・助成事業 (全木協連)

事業名	事業概要	募集期間
木材産業原料転換等構造改革緊急対策事業	①木材産業体質強化促進事業 機械施設導入にともなう利子助成事業	平成22年5月中旬から23年2月末日まで継続募集予定
	②木材供給高度化設備リース促進事業 機械施設導入にともなうリース料の一部助成事業	
	③木材産業原料転換緊急対策特別事業 原料転換のための設備導入、経営安定資金借入れにともなう利子助成事業	
がんばれ！地域林業サポート事業	リースを活用して高性能林業機械等を導入する場合にリース料の一部を助成する事業	平成22年5月6日から5月31日の間で、募集
木質バイオマス利用加速化事業のうち林地残材フル活用事業	間伐等により発生する木質資源の収集と間伐材を燃料用等にフル活用する取組みについて原料調達費及び経費の一部を助成する事業	平成22年6月頃から、おおむね1月間、募集予定
地域材利用加速化緊急対策支援事業のうち2×4住宅用部材の開発	地域材需要の更なる拡大を図るため、2×4住宅における部材開発に対する支援を行う事業	平成22年4月23日～5月24日の間で、募集
地域材利用加速化支援事業のうち国産材資材等供給連携支援事業	土木用等関係者による安定供給に向けた仕組みづくり、品質・性能のガイドラインの作成等を支援する事業	平成22年5月下旬から、おおむね1月間、募集予定
地域材の水平連携加工システム推進事業	連携して生産品目の転換・国産材への原料転換や品質管理技術の向上を図る中小製材工場等への技術指導、経営指導、水平連携体制構築への支援を行う事業	平成22年5月中旬から、おおむね1月間、募集予定

林業・木材産業経営安定化保証

(通称フォレストパートナー保証)を受け付けています。

- ◎ 木材産業等高度化推進資金や間伐資金などで100%保証が受けられます
- ◎ 最大8,000万円まで無担保保証が受けられます(運転資金)



詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)
TEL 03(3294)5585 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com